

## 契約課が執行する入札におけるくじの方法について

### 【現状】

現在、落札（候補）者となるべき同価格の入札をした者が2者以上あるときは、入札会場において、くじを3回引くことにより落札（候補）者を決定しています。

これに伴い、入札参加者を長時間入札会場に拘束する状況となっており、入札時間を短縮し負担を軽減することが課題となっています。

### 【新たな「くじ」方法の手順】

落札（候補）者となるべき同価格の入札をした者が2者以上あるときは、入札参加者の記載した入札書の3桁のくじ番号により落札（候補）者を決定する方法に変更します。

入札会場では、くじ対象業者名のみ公表し、会場での開札は終了します。会場入札終了後、くじ番号による落札（候補）者決定の判定を行なったうえ、電話又はメールにより落札（候補）者に落札決定について連絡します。以降の手続きについては、これまでの会場入札と同様です。

なお、くじの判定結果については契約課窓口で公表します。

- 1 落札（候補）者となるべき同価格の入札をした者（以下、「くじ対象者」という。）について、本市の入札参加資格者名簿における業者番号の小さい順に、0, 1, 2, 3・・・と落札判定番号を割り当てます。
- 2 くじ対象者の入札書に記載されたくじ番号及びくじ対象者の業者番号を足し合わせ、計算結果の下3桁の数値（以下、「確定くじ番号」という。）を求めます。
- 3 くじ対象者の確定くじ番号を全て足し合わせ、くじ対象業者数で割り、余りの数値を求めます。
- 4 落札判定番号と余り数値が一致する者を落札（候補）者とします。なお、次順位者については、落札判定番号に1を加えた落札判定番号の者を次順位者とし、1を加えた落札判定番号の者が存在しない場合は、0の落札判定番号の者を次順位者とします。

【くじの例】 \*3者による「くじ」となった場合

くじ対象者	A社	B社	C社
業者番号①	10823	10419	10344
落札判定番号 (業者番号の小さい順)	2	1	0
くじ番号② (入札書記載の任意の3桁数字)	839	026	224
確定くじ番号 (①+②の下3桁)	662	445	568
確定くじ番号の合計	$662+445+568=1,675$		
余りの数値	$1,675 \div 3 = 558 \dots 1$ 『余りの数値 1』		
落札(候補)者	B社(落札判定番号=余りの数値)		

\*入札書に3桁のくじ番号の記載のない場合又は判別できない場合、くじ番号を『999』として算出します。

【適用時期】

平成28年4月から、契約課において執行する会場入札において適用します。

# 入 札 書

平成 年 月 日

佐久市長様

入 札 人

住 所

商号又は名称

代表者氏名

印

縦覧に供せられた建設工事請負(委託)契約書(案)、設計図書及び入札心得並びに現場を熟覧し、独占禁止法等に抵触する行為を行っていないことを確認した上で、下記のとおり入札します。

## 記

工 事 ( 業 務 ) 名	
工 事 ( 業 務 ) 箇 所	
入 札 金 額	
備 考	

く じ 番 号 ( 3 桁 )			
-----------------	--	--	--

\*くじ番号欄には任意の3桁の数字を記入すること。